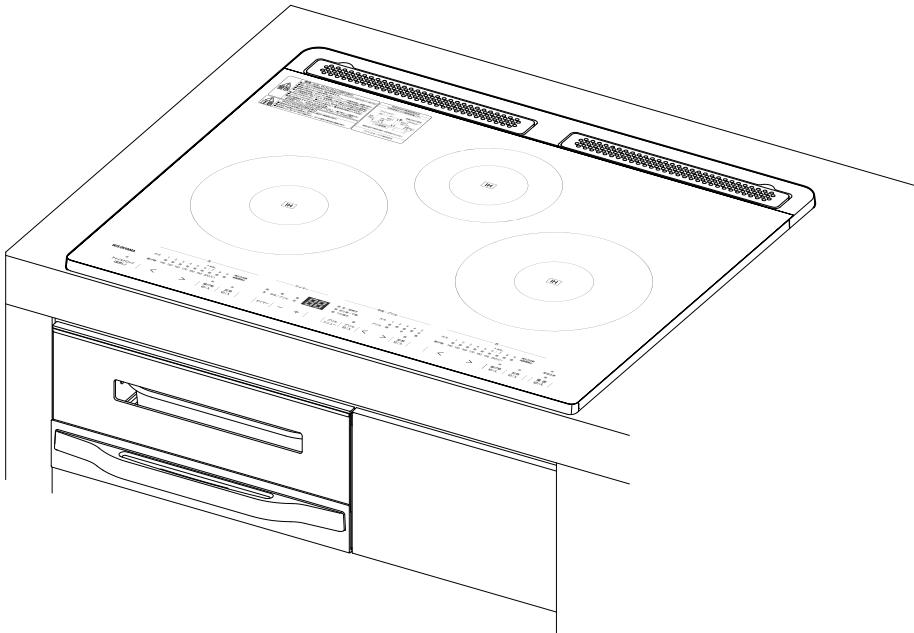


室内・家庭用

# 設置説明書

## 200V3口ビルトイン IHクッキングヒーター

型番 IH-C-B3201



### お客様へ

- この設置説明書は、取扱説明書とともに大切に保管してください。

### 設置される方へ

- 設置前に、「安全上の注意」をよくお読みになり、正しく設置してください。
- 製品の機能が十分に発揮されるように、この設置説明書にしたがって正しく設置してください。
- 設置終了後、必ず試運転を行ってください。
- 異常のないことを確認した後、この設置説明書はお客様にお渡しください。

## もくじ

安全上の注意 .....	2
設置される方へのお願い .....	3
電気工事 .....	4
設置場所の確認 .....	5
システムキッチンとの関係寸法 .....	6
外形寸法 .....	7
設置前の準備 .....	8
設置方法 .....	8
設置後の確認 .....	9
	裏表紙

# 安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。  
人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

## 図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



## 警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う  
おそれがある内容を示しています。



- 施工設置は「設置説明書」にしたがい確実に行う  
設置に不備があると、漏電・火災・けがなどの原因になります。
- 電気配線工事は、関連する法令、規制等にしたがって、必ず「法的有資格者」が行う  
資格をお持ちでない方の工事は法律で禁じられています。
- アース工事は、関連する法令、規制等にしたがい、必ず「法的有資格者」によるD種接地工事を行う  
資格をお持ちでない方の工事は法律で禁じられています。
- アースを確実に取り付ける  
漏電時に感電する原因になります。
- 火災予防条例に基づき、可燃物との離隔距離を必ず守る  
距離が近いと火災の原因になります。
- 200V、30A以上の専用回路と、漏電遮断器を設置する  
配線部が異常発熱し、発火する原因になります。



- 絶対に分解・修理・改造をしない  
火災・感電・異常動作の原因になります。

### 設置について



- 電源プラグの刃および刃の取付面に、ほこりが付着していないことを確認し、がたつきのないよう根元まで確実に差し込む  
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合、感電や火災の原因になります。



- 電源・電線およびアース線は、電源プラグをはずして直結しない  
漏電やショートによる感電・発火の原因になります。
- 電源プラグを水につけたり、水をかけたりしない



## 注意

誤った取り扱いをすると、人だけがをしたり、財産の損害が発生するおそれがある内容を示しています。



- 製品近傍のシステムキッチンの材料は、95°C以上に耐えるものを使う  
システムキッチンの変色・変形の原因になります。



- トッププレートに衝撃を加えない  
上に乗ったり、物を落とさない  
万一ひびが入ったり割れると、過熱・異常動作・感電の原因になります。
- 試運転中はトッププレートやグリルドアなどの高温部に触れない  
やけどの原因になります。

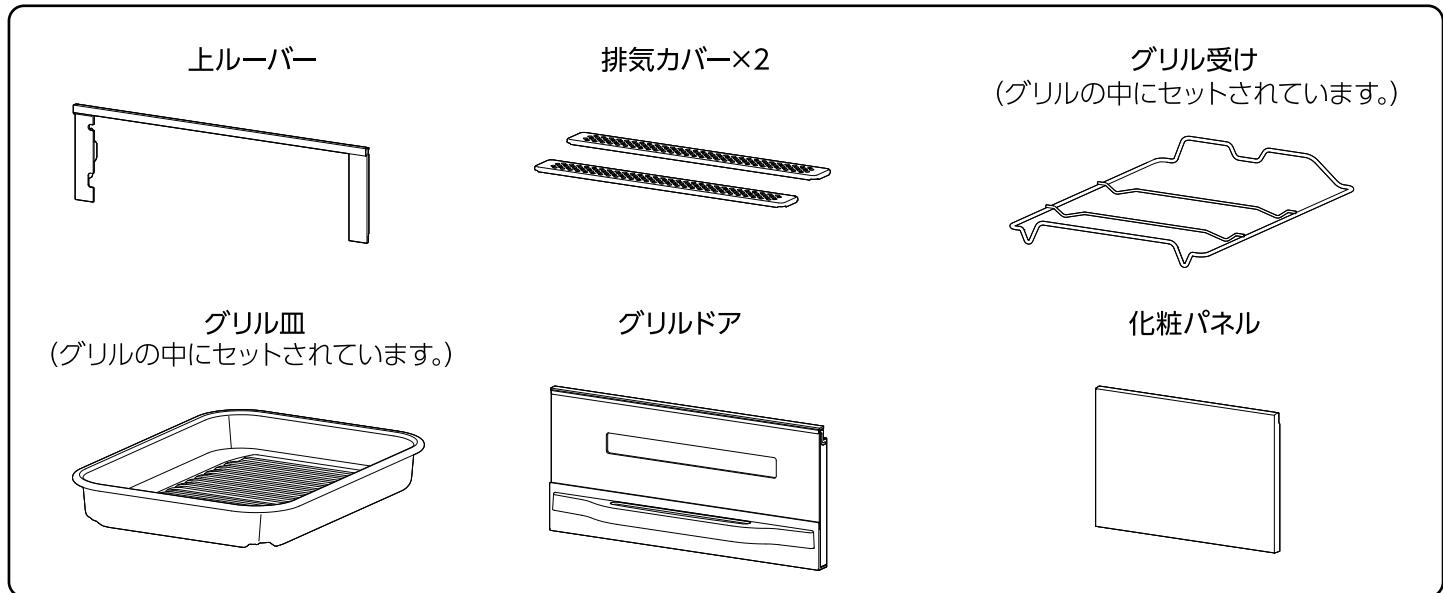
### 設置場所について



- 製品は水平に設置する  
製品が傾いていると、なべが滑り落ち、やけどやけがの原因になります。
- 製品の下方にすき間（3mm）を確保して設置する  
システムキッチンの変色・変形の原因になります。

# 設置される方へのお願い

- 本製品は、適切な電気工事と設置がされていないと性能が十分に発揮できなかったり、火災などの危険が生じる場合がありますので、この設置説明書をよくお読みのうえ、適切な工事を行い、システムキッチンなどに組み込んでください。
- 電気工事は、必ず「電気工事士」の免許をお持ちの方が行ってください。
- 設置完了後は、「設置後の確認」を行い、お客様へご説明ください。
- 下記の付属品の確認をしてください。
- ガスの配管やガスマーティー、ガス栓等のガス工作物は無断で撤去しないでください。法令により規制されていますので、事前にガス事業者へ連絡してください。



※保証書、取扱説明書があることを確認してください。

# 電気工事

必ず電気工事士の免許をお持ちの方が行ってください。

IHクッキングヒーターは、専用回路（1台のIHクッキングヒーターに1分岐回路）を設置してください。

## 専用回路、漏電しや断器の設置

- 専用回路、漏電しや断器を設置してください。

専用回路	漏電しや断器
ブレーカー付き単相 200V・30A	定格電流：30A 感度電流：15mA

※ 三相200V（動力電源）には接続しないでください。

## 屋内配線用電線、コンセントの形状

- IHクッキングヒーター用のコンセントは規格で次のようなものが標準品となっていますので、事前にご確認の上、設置してください。

器具の容量	幹線の太さ	コンセントの形状
30A	Φ2.6mm	 単相200V用（接地極付） 250V-30A

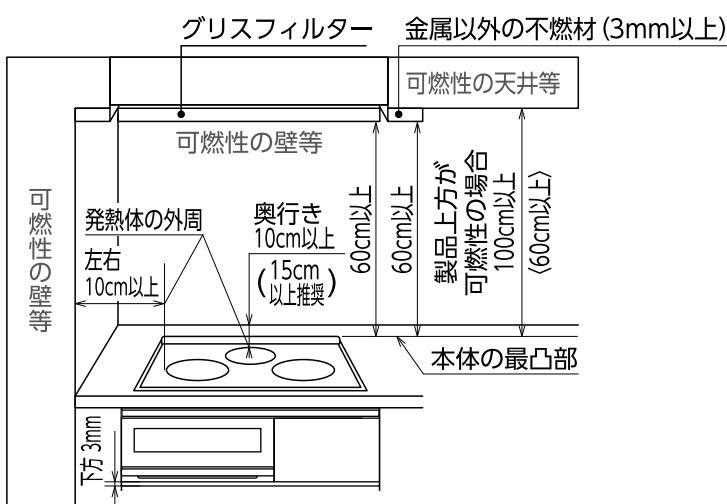
※ D種接地工事（100Ω以下）を必ず行ってください。

# 設置場所の確認

- 火災予防条例、電気設備に関する技術基準を定める省令第59条にしたがって設置してください。
- カウンタートップは熱硬化樹脂化粧板 (JIS K 6903) と同等以上の耐熱性があるものを使用してください。ニス引きのものは変色しますので使わないでください。
- 製品の金属部がシステムキッチンの金属部と接触する場合は、建物の壁中の金属（メタルラスなど）とシステムキッチンの金属部を接触しないようにするか、製品の金属部がシステムキッチンの金属部に接触しないように取り付けてください。（電気設備技術基準第145条で危害なきよう設置することが定められています）

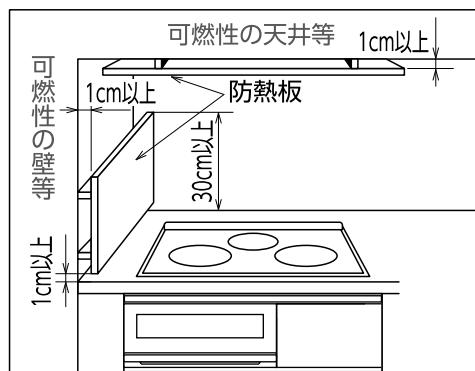
このIHクッキングヒーターは「消防法設置基準」に基づく試験基準に適合しております。建築物の可燃物から図のように離して設置してください。

〈〉内は不燃材または防熱板を取り付けた場合  
周囲の壁が不燃材の場合：本体外周から0cm以上



※ 通行時や冷蔵庫・家具等の扉があたらないように、IHクッキングヒーターの前面はできるだけ広く(60cm以上)あけてください。

上記寸法がとれない場合には、不燃材による防熱板を取り付けてください。

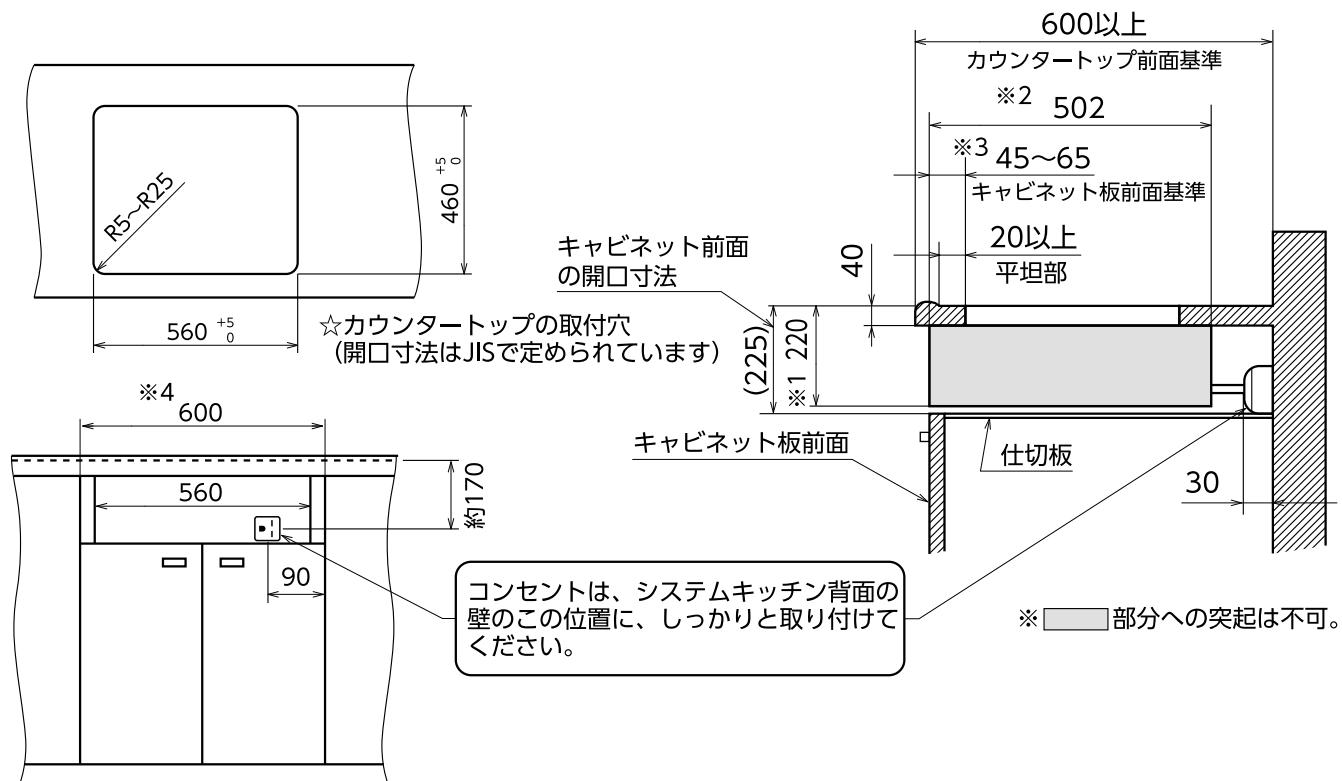


[特定安全IH調理器適合品]  
[消防法 基準適合 組込形]

※ 防熱板はこれを設けたとき、機器周囲の可燃物の温度が室温35°Cのときに100°Cを超えない断熱性を有すること。  
※ 本体の後面に取り付ける場合も、側面と同じ距離を設けてください。

# システムキッチンとの関係寸法

単位：mm



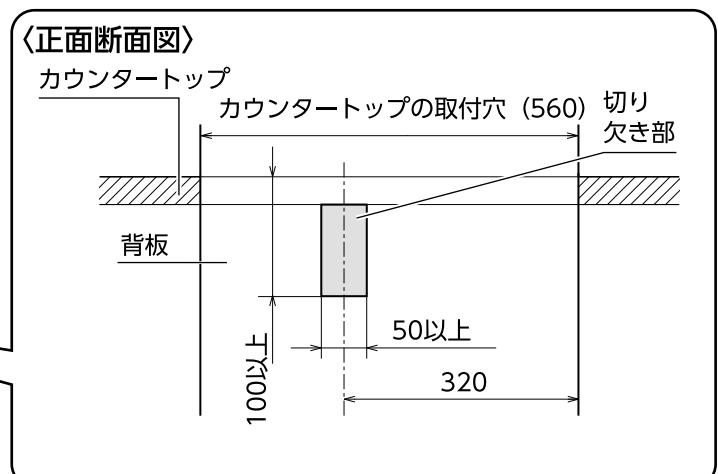
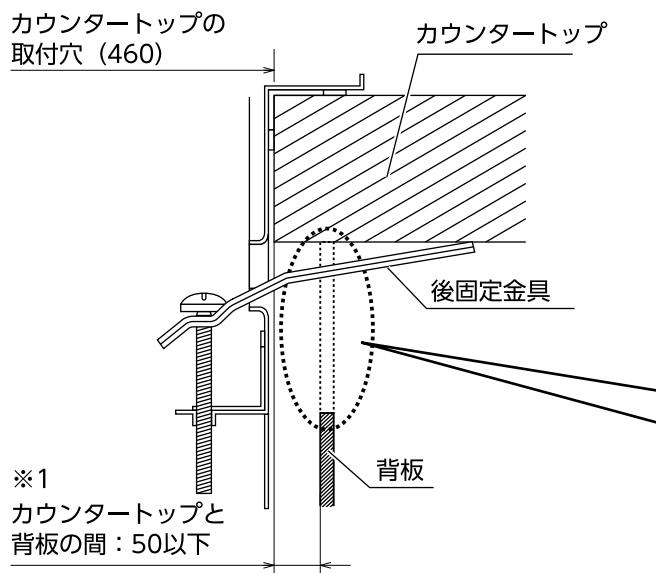
● ※1、※2の寸法は製品寸法ですので、この部分への突起物がないようにしてください。

● ※3の寸法はカウンタートップの穴位置の基準を示し、この範囲であれば設置できます。

● ※4の寸法は、キャビネット前面の開口寸法で奥行き20mmまで必要な空間です。

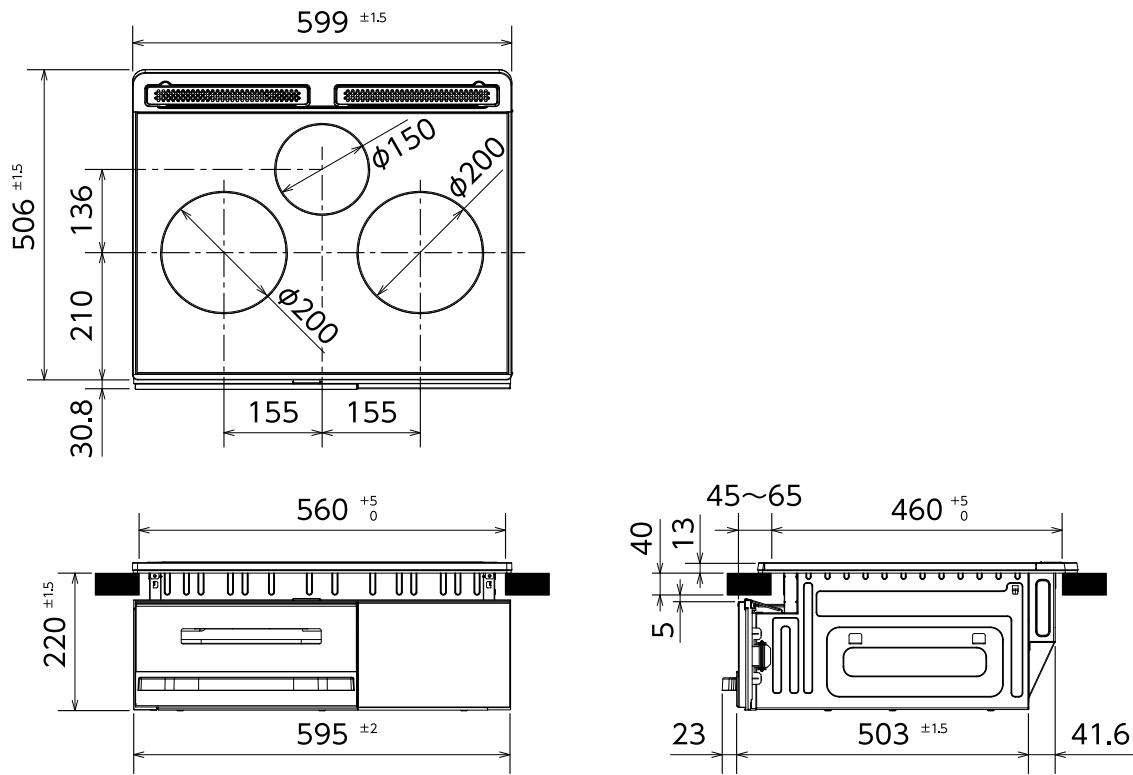
## キャビネットの背面に背板がある場合は、次の加工を行ってください

カウンタートップと背板の間（※1）が50mm以下の場合は、後固定金具が通るよう切り欠きを設けてください。



# 外形寸法

单位：mm

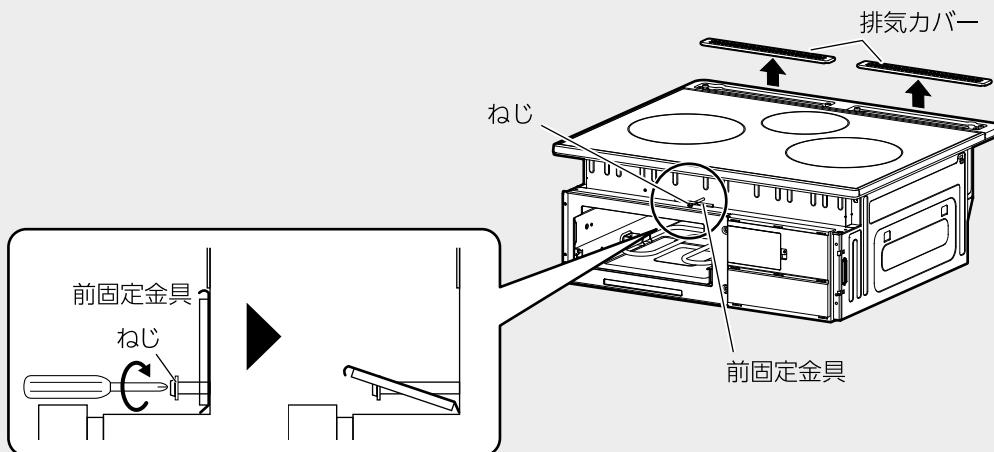


# 設置前の準備

金属端面が多いため、けがをしないように注意してください。

## 1 「設置される方へのお願い（3 ページ）」を参照し、付属品の確認をする

### 前固定金具（本体に取り付け済み）のねじをゆるめる



## 2

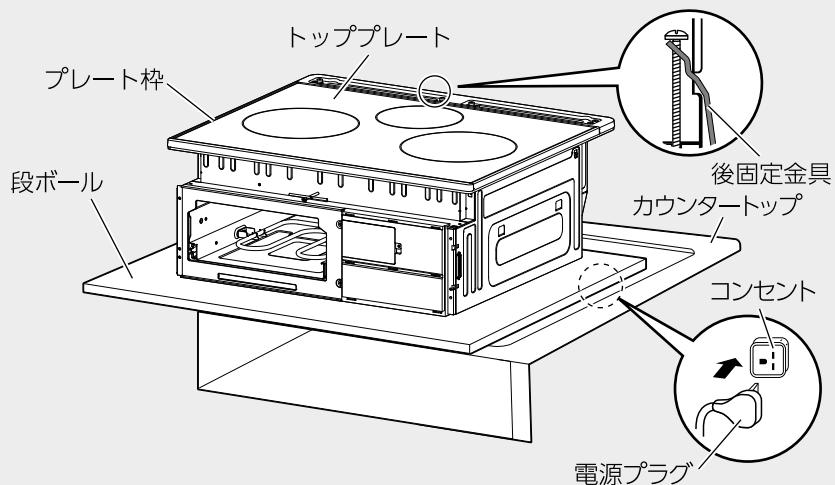
# 設置方法

必ずブレーカーをしゃ断して設置を行ってください。

トッププレートは、はずさないでください。

### 電源プラグを差し込む

- カウンタートップに傷をつけないよう、段ボールを敷いてください。
- カウンタートップに傷がつかないように、後固定金具（本体に取り付け済み）が本体背面に密着していることを確認してください。



## 1

# 設置方法

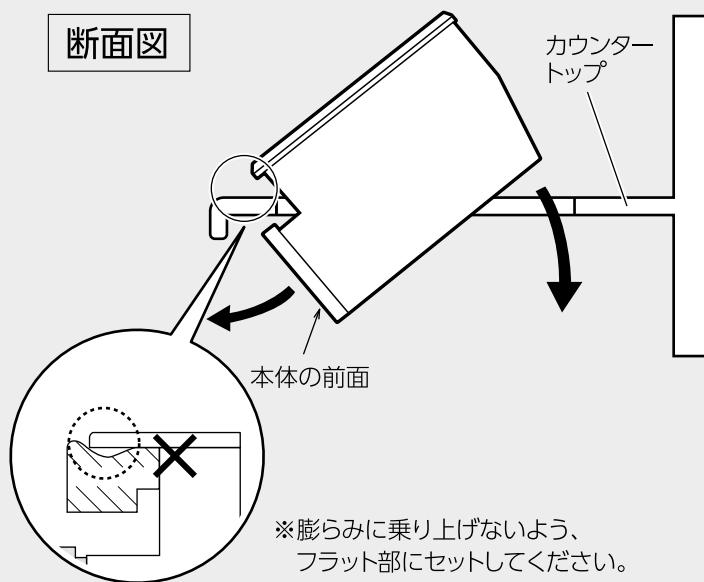
## つづき

### カウンタートップに本体の前面を挿入してから全体を前側に寄せてはめ込む

(製品が後寄りに設置された場合、上ルーバーを取り付ける際にシステムキッチンなどにあたり、正常に取り付けられないことがあります)

- はめ込み時は、本体の前面をカウンタートップにあてないように注意してください。  
(傷がつく原因になります)
- 電源コードを本体底面とキャビネットの間に挟まないよう注意してください。  
(本体が浮き、すき間が生じます)
- プレート枠裏側のパッキンがめくれたり、はみ出したりしないように注意してください。
- カウンタートップと本体のトッププレートのすき間が全周にないことを確認してください。
- はめ込み後、グリル内の付属品を引き出し、梱包材、ポリ袋を取り外してください。

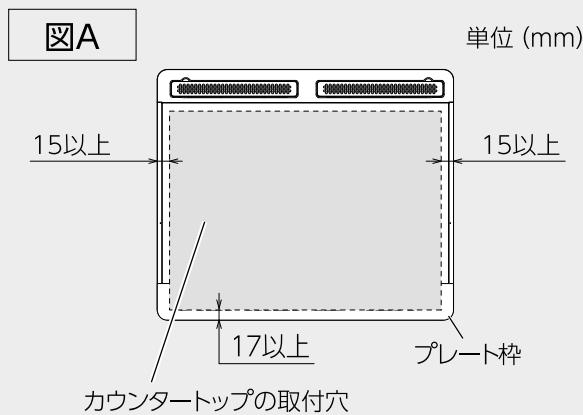
2



### 上ルーバーを取り付け、本体の位置を調整する

- 左右側面の差し込み口に、上ルーバーの突起部を差し込んでください。  
(差し込んだ後に上ルーバー内側の凸部が、本体の側面角穴部に確実に入っていることをご確認ください)
- プレート枠とカウンタートップの取付穴の距離が図Aの寸法となるよう本体の位置を調整してください。
- 上ルーバーとキャビネットの左右側面とのすき間が均一になるように本体の位置を調整してください。
- キャビネットの扉面と本体の前面が合うように、本体の位置を調整してください。
- 本体の位置を調整する場合は、本体を持ち上げて調整してください。本体を持ち上げないで位置を調整すると、プレート枠の裏側のパッキンがはみ出る場合があります。

3

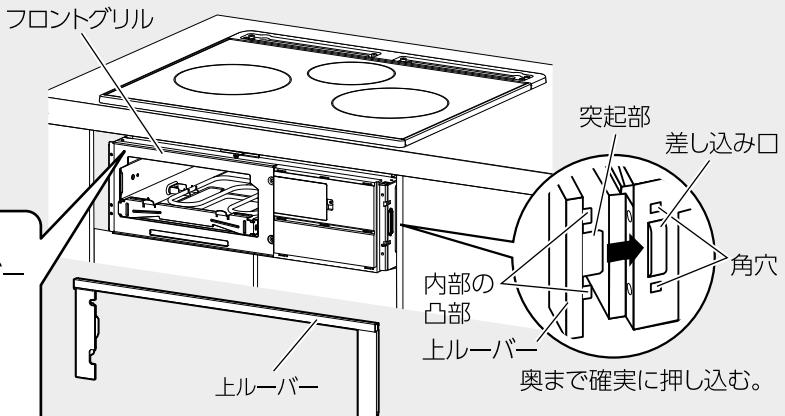
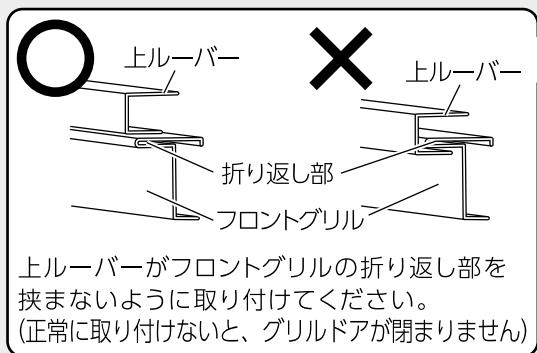


# 設置方法

## つづき

〈上ルーバーの取り付けかた〉

3

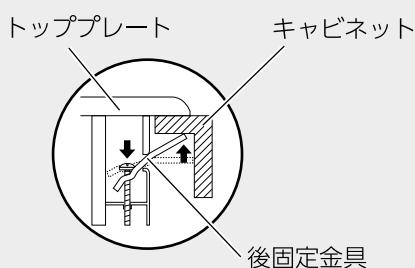
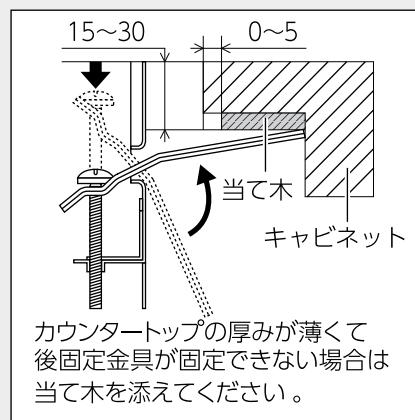
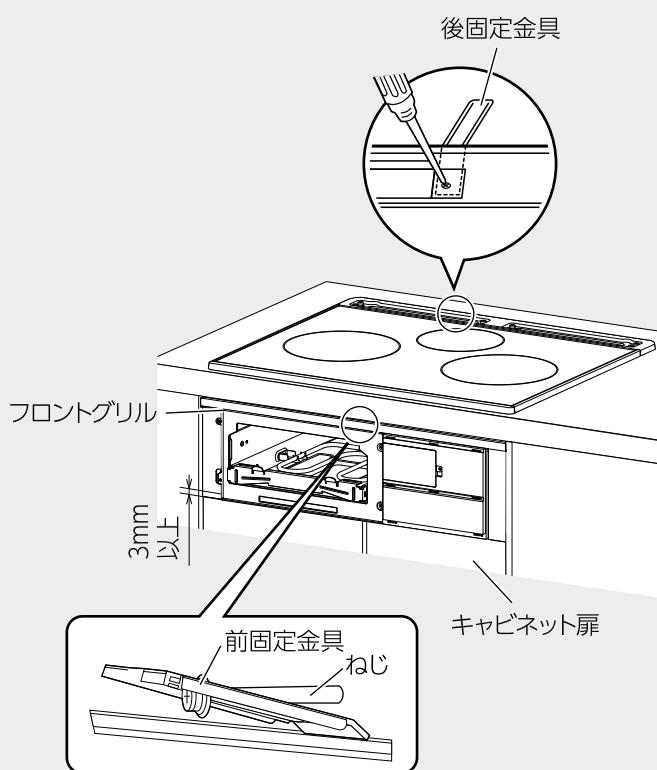


### 本体を固定する

#### ① 後固定金具（本体に取り付け済み）の固定

- ドライバーを入れ、後固定金具のねじを確実に締め付ける。
- ※ 締め付けトルクは80～90N・cmとする。

4



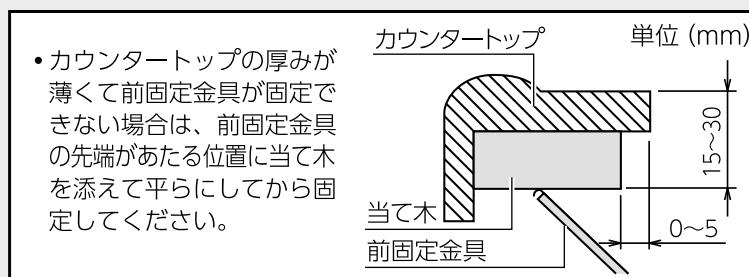
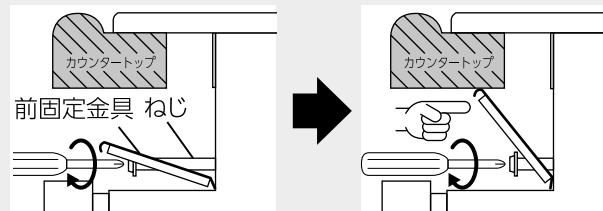
※後固定金具が持ち上がり、  
カウンタートップに固定され、  
シール性が確保されます。

# 設置方法

## つづき

4

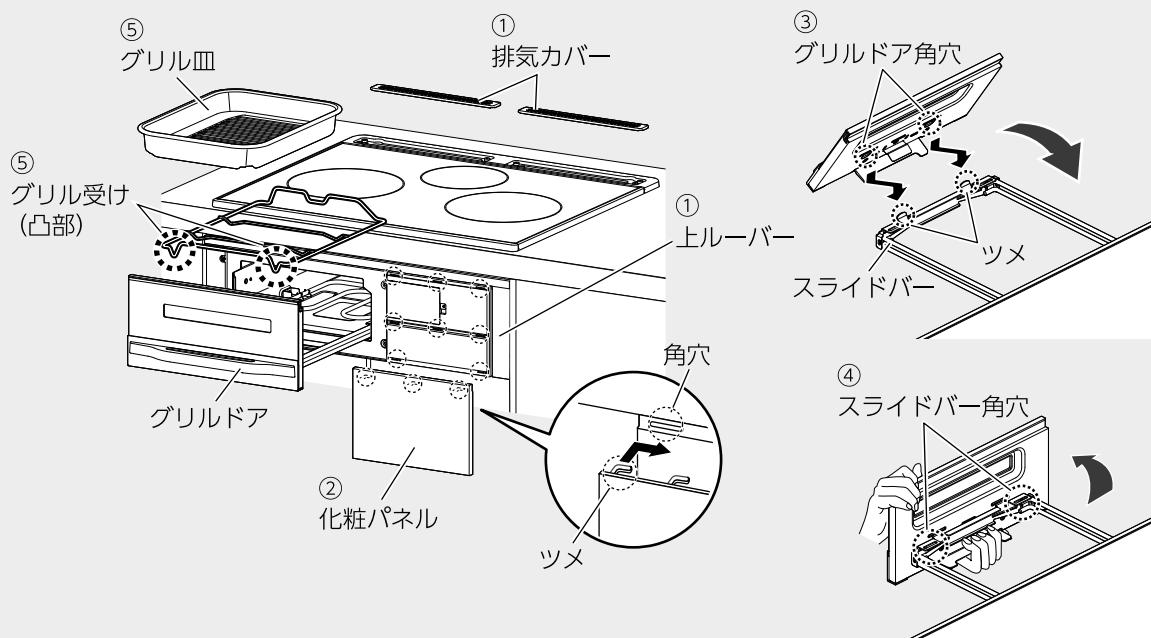
- ② 前固定金具（本体に取り付け済み）の固定
- ・取り付けた上ルーバーを取り外してください。
  - ・カウンタートップに挟み込み、指で前固定金具を押さえながらねじを締め付け固定してください。  
※ 締め付けトルクは80～90N・cmとする。
  - ・固定後、本体を押して動かないことを確認してください。
- ③ フロントグリルとキャビネット扉のすき間を確認する
- ・すき間が3mm以下のときは、キャビネット扉の高さを調整してください。



### 上ルーバー、排気カバー、化粧パネル、グリルドア、グリル受け、グリル皿を取り付ける

- ① 上ルーバーを取り付け、排気カバーを取り付ける
- ② 化粧パネルのツメを本体の角穴に合わせ右にスライドして化粧パネルを取り付ける
- ③ グリルドアを本体側へ倒すようにし、スライドバー側のツメ2箇所をグリルドア下部の角穴に差し込む
- ④ グリルドアを手でささえ、垂直に起こしながらはめ込む  
※ カチッと音がしてグリルドアが固定されます。
- ⑤ グリル受けを取り付け、グリル皿をのせる
- ・スライドバー側の角穴とグリル受け（凸部）を合わせる。

5



# 設置後の確認

■ 設置完了後、次の手順で確認し、チェック欄に✓印をしてください。

確認事項		チェック
機材などの取り付け	排気カバーの取り付け	
	グリル受け、グリル皿の取り付け	
	取扱説明書、設置説明書を包装箱から取り出し、お客様にお渡しする	
動作	グリルドアが、スムーズに奥まで完全に閉まることを確認する	
電気工事	接地工事	
	漏電ブレーカーの設置	
	電源プラグの接続	
電気試験	① ブレーカーを「入」にする ② 電源電圧が200Vであることを確認する ③ 電源スイッチを「入」にする。→電源ランプが点灯する ④ 各ヒーターの動作をチェックする	
	<b>左ヒーターのチェック</b> ・水を入れた鉄系のなべをのせて操作パネルの左ヒーターの「加熱 切/入」ボタンを押す → 火力表示ランプの左から4個目までが点灯し、加熱が開始される（確認後は「加熱 切/入」ボタンを押して「切」の状態にしてください。） ※ IHヒーターは、トッププレートの加熱部に鉄系のなべがのせられている場合しか加熱されません。火力表示が点滅の場合は、なべがのせられていないか、鉄系以外のなべのため通電されていない状態を示しています。	
	<b>右ヒーターのチェック</b> ・左ヒーターと同様の手順で、操作パネルの右ヒーターの「加熱 切/入」ボタンを操作して確認する	
	<b>中央ヒーターのチェック</b> ・水を入れた鉄系のなべをのせて操作パネルの中央ヒーターの「加熱 切/入」ボタンを押す → 火力表示ランプの左から2個目までが点灯し、加熱が開始される（確認後は「加熱 切/入」ボタンを押して「切」の状態にしてください。）	
	<b>グリルのチェック</b> ・操作パネルの「グリル 切/入」ボタンを押す → 火力表示ランプの「中」が点灯して加熱が開始される（確認後は「グリル 切/入」ボタンを押して「切」の状態にしてください。）	

確認年月日	年    月    日	取付・設置完了確認者	印
-------	-------------	------------	---

## ■ 確認後は

必ず電源を切ってください。  
通電により本体が熱くなりますので、完全に冷めるまで手を触れないでください。

**アイリスオーヤマ株式会社** 〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号  
ホームページ <https://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせ(通話料無料)

**アイリスコール 0120-311-564**

9:00～17:00(年末年始・会社都合による休日を除く)

●お問い合わせの際は、製品の型番をお調べいただき、取扱説明書・  
ご購入履歴のわかるもの・メモのご用意をお願いします。

**お客様サポート**

24時間365日  
Web即時回答サービス

